

# 鯧漁場建築～旧余市福原漁場～

北海道・余市町



初代福原才七は、安政年間から父母と共に余市へ鯧漁の出稼ぎに来ていたといわれ、明治17年には余市町浜中42番地に居住し、鯧漁を行い、猪股安之丞から翌18年に浜中の土地、建物を買入れ事業拡大に努めた。

明治33年には息子の作次郎が2代目才七を襲名、明治36年（1903）、不漁により漁場の所有権は小黒浜蔵へ移る。

大正元年、土地、建物、漁具を川内家に売却。大正時代は余市町の東部地区は鉄道開通後の発展が著しく、川内家も本拠を浜中町に移すことになり、従来の母屋を解体し、大正6年、転用材を多数用いて現在の母屋を新築。

旧余市福原漁場は、昭和57年2月12日に史跡の指定を受けている。

## TOPICS

- ・北海ソーラン祭り 毎年7月第1週の土日 開催
- ・特産品：果物、ワイン、あんこう鍋（冬季）

## お問い合わせ先

余市水産博物館(余市町教委文化財課)

TEL / 0135-22-6187

URL / <http://www.town.yoichi.hokkaido.jp/>

## 【交通】

バス / JR余市駅から5分 浜中町下車徒歩2分

車 / 札樽自動車道小樽インターから国道を積丹方面へ30分

